

分野	荒廃山地の復旧等の治山		事業番号	4	事業名	山地治山(復旧治山)				
市町村名	小谷村	ふりがな箇所名	下里瀬		事業年度 (完了年度は見込み)	H24年度～		H27年度		
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)	財源内訳(千円)				
	全体	山腹工 0.57ha なだれ予防柵工493m、実播工1,900㎡、土留工5個 他			400,000	220,000		162,000	18,000	
	H24年度(ゼロ国)	山腹工 0.16ha なだれ予防柵工84m、実播工1,900㎡			100,000	55,000		40,500	4,500	
箇所評価	区分	評価項目・指標等		評価			ランク	評点		
	(20)	必要性	保全対象人家	<input checked="" type="checkbox"/> 10戸以上	<input type="checkbox"/> 1～9戸	<input type="checkbox"/> 0戸	B	5		
		保全対象公共施設	<input checked="" type="checkbox"/> 2箇所以上	<input type="checkbox"/> 1箇所	<input type="checkbox"/> なし	5				
		保全対象に災害時要援護者関連施設があるか	<input type="checkbox"/> 重要施設	<input type="checkbox"/> 一般施設	<input checked="" type="checkbox"/> なし	0				
		保全対象(保安林・林業用施設)	<input type="checkbox"/>	「広域基幹林道」又は利用区域500ha以上の林道又は保安林率50%以上	<input type="checkbox"/>	保安林率30%以上50未満又は流域対策上保全すべき森林あり			<input checked="" type="checkbox"/> 保安林率30%未満	2
		小計								12
	(15)	重要性	過去の災害履歴	<input checked="" type="checkbox"/> 過去5年に1回以上	<input type="checkbox"/> 災害履歴地	<input type="checkbox"/> なし	A	5		
		交通遮断による地域経済などへの影響	<input checked="" type="checkbox"/> 大	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 小	5				
		防災計画上の位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし		5				
		小計								15
	(20)	効率性	費用対効果(B/C)	<input checked="" type="checkbox"/> B/C2.0以上	<input type="checkbox"/> B/C1.0以上2.0未満	<input type="checkbox"/> B/C1.0未満	A	10		
		早期発現度	<input type="checkbox"/> 3年未満	<input checked="" type="checkbox"/> 3年以上5年未満	<input type="checkbox"/> 5年以上	5				
		流域の総合調整	<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし		0				
		小計								15
	(25)	緊急性	最寄の保全対象までの距離	<input checked="" type="checkbox"/> 50m未満	<input type="checkbox"/> 50m以上200m未満	<input type="checkbox"/> 200m以上	A	7		
		地形、地質の状況	<input type="checkbox"/>	火山噴出物、花崗岩、第3紀層、破碎帯かつ地すべり地形	<input checked="" type="checkbox"/>	火山噴出物、花崗岩、第3紀層、破碎帯			<input type="checkbox"/> その他	2
		平均渓床勾配(平均山腹勾配)	<input checked="" type="checkbox"/> 10°以上(30°以上)	<input type="checkbox"/> 5°～10°未満(20～30°未満)	<input type="checkbox"/> 5°未満(20°未満)				3	
		下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり(概ね満砂)	<input type="checkbox"/> あり(ポケットあり)				5	
		危険地区危険度	<input checked="" type="checkbox"/> Aランク	<input type="checkbox"/> Bランク	<input type="checkbox"/> Cランク	<input type="checkbox"/> なし			7	
		小計								24
(20)	計画	地域からの要望	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民活動強い	<input type="checkbox"/> 市町村要望有り	<input type="checkbox"/> 特に要望ない	A	10			
	熱度	事業情報の共有	<input type="checkbox"/> 関係者以外にも周知	<input checked="" type="checkbox"/> 関係者中心に周知	<input type="checkbox"/> 特に周知していない			3		
	住民参加の状況	<input type="checkbox"/> 住民が直接参加	<input checked="" type="checkbox"/> 住民市町村意見を反映	<input type="checkbox"/> 住民意見反映していない				3		
	小計								16	
費用対効果(B/C)		2.95		評価の合計			A	82		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	H24年1月豪雪により、小谷村南小谷での最深積雪深は、平年値の2倍となる250cmを記録した。なだれ発生前の1月18日から22日にかけては、近傍の白馬村アメダス観測所において最高気温約5度を観測しており、この融解再凍結により、積雪表面にクラストが形成された上に、1月22日から28日にかけて連続138cmの降雪があり、これがきっかけとなって1月29日夜、全層雪崩を誘発したと推定される。デブリの大部分は耕地境界で停止したが、なだれによる倒木の一部の枝葉は、人家から約20m地点まで飛散が確認された。また、山腹には全層雪崩により発生した山腹崩壊に伴う不安定土砂が堆積しており、今後の降雨による流出や、今冬のなだれ被害の再発も懸念される。								
	地域からの要望経緯	H24.4.4 現地調査:地域住民から対策要望 H24.5.28:現地調査:地域住民から早期の対策要望 H24.6.14:現地調査:地域住民から対策要望、 H24.6.18:小谷村長より対策要望								
	事業説明等の経緯	H24.5.28 現地調査時に、今後の対応概要スケジュールを説明 H24.6.18 下里瀬地区で住民説明会開催。約30名出席し、雪崩概要及び今後の対応計画を説明 H24.10.24 設計概要、工事仮設計画、保安林指定計画を住民説明 H24.12.25 実施設計の説明会を開催、保安林指定の承諾を得る								
	環境・景観への配慮項目	なだれ発生源への対策工事と崩壊地復旧工事を組み合わせ、なだれ発生防止と早期森林復元を目標とした工法を選定する。								
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。								
特記事項	土砂法(急傾斜)、特別警戒区域に指定されているため、平成24年10月9日、所管大町建設事務所に計画概要を情報提供済。山地災害危険地区、なだれ危険地区 なだれ発生後には村単独で倒木を除去。									
地域の合意形成	<input checked="" type="checkbox"/> 全員賛成		<input type="checkbox"/> 概ね賛成		<input type="checkbox"/> 過半数賛成		<input type="checkbox"/> 動向不明			
部意見	下里瀬集落及び重要交通網を、なだれ災害及び土砂災害から保全するため、早急に対策工事を実施する必要がある。				行政改革課意見	重要性が高く、緊急性も認められる。				